

■kmlデータについて

○kmlデータとは

本ホームページで公開している写真データは、位置情報を含め「kml形式」のデータとして作成しています。kmlは、Open Geospatial Consortium (OGC) という地理情報の標準化等を行う団体によって、国際基準の形式として認定されたデータフォーマットです。kmlデータは、地理情報を取り扱うさまざまなアプリケーションで利用することができますが、ここでは、Google社より無償で頒布されている「Google Earth」で閲覧する方法について説明します。

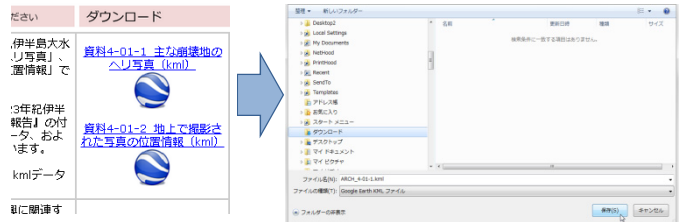
○アプリケーションの導入と使用方法

Google Earthの導入（インストール）および使用方法については、Google社のサイトにある情報を参照してください。

○本ホームページで公開しているkmlデータの見方

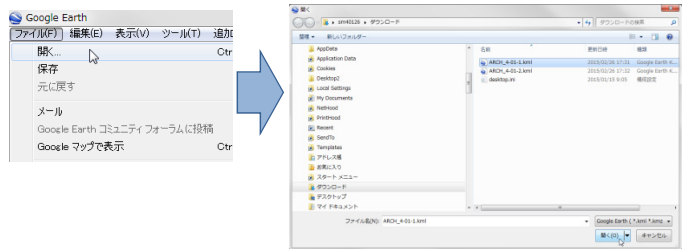
(1) データを保存する

本ホームページに掲載されている各kmlデータのアイコンをクリックし、任意のフォルダにダウンロードしてください。



(2) データを開く

Google Earthを起動し、[ファイル>開く]から(1)で保存した「kmlデータ」を選択します。それぞれの位置情報が読み込まれ、アイコン形式で地図上に表現されます。



(3) 表示される情報

地図上に表示されたアイコンをクリックすると、奈良県が抽出・整理した、紀伊半島大水害における写真とその位置情報が表示されます。

